

政策3 観光の振興

施策1 観光事業の活性化

事務事業の概要					
事務事業名称				重点テーマ	担当課
観光イベント充実事業				新しい都市基盤の構築とその活用による「交流・活力・にぎわい」の創出	商工観光課
予算科目		決算額(円)			
会計	款	項	目	764,799	
一般	7	1	4		
目的					
本市の自然、歴史的遺産や特産物等をPRし、観光客の誘致につなげます。					
内容					
乙訓2市1町と八幡市の連携により広域観光事業を行います。また、市内外の観光客をいざなう、観光あるき事業や食をテーマにした活動の推進を支援します。					



事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
阪急観光あるきや食をテーマにした観光イベントの充実を図ります。						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
歴史ウォーク1回 (平成23年度)	目標	各種イベント 年2回	各種イベント 年2回	各種イベント 年3回 ※25年度からの目標値	各種イベント 年3回	各種イベント 年3回
	実績	1回	3回	5回	5回	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> 「乙訓・八幡広域観光連絡協議会」で二次交通事業者に対する観光プロモーションを行いました。また、外国人観光客の誘客・受入双方の視点にたった英語版広域観光パンフレットを作成し、PR効果の高い場所への配架を行いました。 阪急京都沿線9市町と阪急電鉄の連携事業としてガイドツアーなどの「観光あるき事業」を実施しました。 近隣自治体と交通事業者などで組織する「京都・西の観光推進協議会」において、プレミアムバスツアーやミステリーツアーなどを実施しました。 						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		達成できた(目標の100%以上)				
<ul style="list-style-type: none"> 地域を取り巻く観光分野の環境が変化したことなどを受け新たに発足した「京都・西の観光推進協議会」において、近隣自治体や民間事業者との連携のもと本市の特性を活かした事業を開催しました。 シティプロモーションを意識した質の高い観光事業企画を行うことでシティブランド力の向上につながりました。 従来からの各種広域連携事業についても、事業内容に変化をもたせることを意識し、様々な切り口から事業を企画運営することで、新しい観光客層の誘客につながりました。 						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> 2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックに向けて増加する外国人観光客の誘客施策の展開と受入体制の整備が必要となります。また、魅力的な観光素材が多く点在し、歴史的に非常にポテンシャルの高いまちであるにも関わらず、宿泊施設や駐車場が少ないなどのインフラ整備における多くの課題があります。 「乙訓・八幡広域観光連絡協議会」や「京都・西の観光推進協議会」、「阪急観光あるき実行委員会」など、広域的かつ民間事業者との連携が可能な協議会において、外国語の観光マップを発行し、目立つ場所に配架をするとともに、案内所スタッフやガイドに対するインバウンド観光受入研修会を開催します。 宿泊施設や駐車場の課題に対して、京都駅から10分という地の利を活かし「京都プラスワン観光」を推奨し、住民と観光客双方にとって魅力的となる観光振興施策を展開します。 						

政策3 観光の振興

施策1 観光事業の活性化

事務事業の概要					
事務事業名称				重点テーマ	担当課
観光協会支援事業				新しい都市基盤の構築とその活用による「交流・活力・にぎわい」の創出	商工観光課
予算科目		決算額(円)			
会計	款	項	目	10,045,360	
一般	7	1	4		
春の観光まつりでの朝掘り筍販売(4月26日~27日)					
					
目的					
観光振興と、観光を通じた地域経済の活性化により、本市の魅力を高めます。					
内容					
本市における持続可能な観光振興につながる具体的な事業として、市民や観光客への憩いの場の提供や特産品などの宣伝啓発など、観光協会が実施する各種事業を支援します。					

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
長岡京市全体の観光入込客数を増やします。						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
123万2247人 (平成23年度)	目標	205人	205人	123万人 ※25年度からの目標値	125万人	127万人
	実績	196人	192人	124万2千人	118万5千人	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> 観光協会主催の「たけのこフェスタ」「あじさいまつり」「秋のもみじめぐり」など、毎年恒例の四季のまつり等も継続して開催され、その企画・実施の支援、観光竹林を活用した「たけのこ掘り体験事業」などの支援を行いました。 5ヶ年をかけて整備を行ってきた長法寺の「観光地開発事業」は、全整備が完了し竣工式典などで広くお披露目し、本市の新しい観光地としてPRを行いました。 						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		ほぼ達成できた(目標の80%~100%)				
<ul style="list-style-type: none"> 天候不良などにより、観光入込客数は若干減少しましたが、観光協会が主催する四季のまつり等各種事業については、市民に定着し、観光客からの関心も高く、広範囲からの観光誘客につながっています。 観光竹林を活用した「たけのこ掘り体験事業」の人气も高く、観光客の誘致だけでなく、本市の観光ブランドや特産物の宣伝効果にもつながっています。 						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> イベント開催地の諸事情や観光客のニーズの変化等により、観光協会が実施しているイベントやまつりの見直しが必要となってきています。特に近年は、「たけのこフェスタ」や「あじさいまつり」での渋滞や駐車場不足が深刻さを増しており、誘客・おもてなし双方の観点から適切な対策が必要不可欠となっています。 2020年の東京オリンピック・パラリンピックへ向けたインバウンド観光施策の推進は、今後の観光振興のより効果的な展開をはかるためには重要な要素となります。 各事業の実施方法の見直しや創意工夫を積極的に行い、より魅力的でコストパフォーマンスの高い事業の企画・実施を支援していきます。 観光協会の英語版ホームページの充実や英語版観光マップの作成、外国語対応窓口スタッフの育成など、具体的なインバウンド観光施策に取り組みます。 今後、商工会や地域活動団体や関係企業に対しても、協力・協働を働きかけていきます。また、次世代の観光振興を担う人材の育成や協力者の確保など、持続可能で発展的な活動を目指します。 						

政策3 観光の振興

施策1 観光事業の活性化

事務事業の概要					
事務事業名称				重点テーマ	担当課
観光案内所管理運営事業				新しい都市基盤の構築とその活用による「交流・活力・にぎわい」の創出	商工観光課
予算科目		決算額(円)			
会計	款	項	目	13,438,132	
一般	7	1	6		
目的					
市民や観光客に対し、本市の自然や歴史的遺産、特産物などを広く紹介します。					
内容					
阪急長岡天神駅前の観光案内所及びJR長岡京駅西口のバンビオ1番館の観光情報センターにおいて、市民及び観光客に観光案内やその他観光情報の提供を行うとともに、特産品や工芸品などの展示や販売などを行います。					



事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
観光案内所と観光情報センターにおける案内件数（電話案内を含む）と観光協会の観光案内ホームページへのアクセスを増やします。						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
74千人 (平成23年度)	目標	92千人	93千人	案内件数75千件 アクセス数45万 件 ※25年度からの目標値	案内件数75千件 アクセス数50万 件	案内件数75千件 アクセス数55万 件
	実績	74千人	80千人	案内件数 81千件 アクセス数 50万3千 件	案内件数72千件 アクセス数 54万5千	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> 案内所及び情報センターにおいて、市民、観光客に約72,000件の観光案内やその他の情報を提供するとともに、指定管理者による特産品・工芸品等の展示・販売を実施しました。 平成25年度に開設した「長岡京@navi.（阪急西山天王山駅東口）」においても約30,000件の案内を行いました。 観光地の写真や花情報の展示を充実させ、パンフレット台や掲示板を常設して様々な観光情報パンフレットやチラシを配架するなど、積極的な観光PRを行っています。また、情報端末を活用したタイムリーな案内を行うなど、常におもてなしの心をもった接客を心がけています。 						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		ほぼ達成できた（目標の80%～100%）				
<ul style="list-style-type: none"> 既存の両案内所での案内件数は約72,000件で約9,000件減少しましたが、平成25年度に開設した「長岡京@navi.（阪急西山天王山駅東口）」で約30,000件の案内を行い、3つの案内所では約27,000件増の約102,000件の案内を行いました。 リニューアルしたホームページを活用し、多様化する時代のニーズに合った観光案内を実施しました。 ホームページのアクセス数は54万5千件あり、インターネットなどでの情報取得ニーズが高まっています。 						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> 様々な観光ニーズが広がる中で、今後ますます市民や観光客からの観光情報の問い合わせ内容や手法が多様化することが予測されます。また、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた外国人誘客に力を入れる国や府のインバウンド観光振興施策に伴い、外国人観光客の誘客と受入体制の整備が必要不可欠となります。 指定管理者である観光協会との関係をより一層密にし、観光情報の共有をはかり、きめ細やかな情報発信に努めるなど、様々な観光ニーズに対応できるよう「おもてなしの心」をもって積極的に観光案内所管理運営に取り組むよう指導いたします。また、外国人観光客の来訪が増加することを見据え、案内所スタッフに向けた外国語の窓口対応研修を行います。 						

政策3 観光の振興

施策1 観光事業の活性化

事務事業の概要					
事務事業名称				重点テーマ	担当課
八条ヶ池周辺維持管理事業				新しい都市基盤の構築とその活用による「交流・活力・にぎわい」の創出	商工観光課
予算科目		決算額(円)			
会計	款	項	目	12,665,665	
一般	7	1	4		
目的					
観光客や市民の憩いの場となるように、八条ヶ池周辺の美観維持を図ります。					
内容					
八条ヶ池中堤のキリシマツツジ、水上橋周辺及びアヤメ・カキツバタ・ショウブ園などの観光地環境の景観を守ります。					
八条ヶ池中堤のキリシマツツジ					
					

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
八条ヶ池周辺の入り込み客数を増やします。						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
67万5千人 (平成21年度)	目標	68万人	68万5千人	69万人	69万5千人	70万人
	実績	63万9千人	67万3千人	69万4千人	70万5千人	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> 八条ヶ池周辺の美化・清掃をはじめとする日常的な管理や市天然記念物のキリシマツツジをはじめとする様々な樹木の管理・樹勢回復に努め、池周辺の美観保持を行うとともに、池の水質浄化、噴水機・流水機の点検・修繕などの安全衛生管理にも努めました。 特に、水質汚濁の進む大池については、まちづくり交付金を活用し微細泡攪拌方式による水質浄化を行いました。 						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況			達成できた（目標の100%以上）			
<ul style="list-style-type: none"> 市民や観光客の憩いの場として、市天然記念物のキリシマツツジやカキツバタ園の水生植物の育成などを、委託業者や関係者との連携により、八条ヶ池周辺の美観保持に努めました。 古木化が進む東堤のサクラについて、地元や天満宮と協議のうえ植樹を行うことで、観光地としての魅力増進に努めました。 平成25年度に大規模改修した水上橋の南橋については、橋の長寿命化を目的とした維持管理計画を検討し、清掃などの必要なメンテナンスを行いました。 						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> 八条ヶ池周辺は、平成25年度に都市景観大賞の最高位「国土交通大臣賞」を受賞した市が誇る景観地区であり、美観の維持、安全性の確保、景観の保全など、様々な視点で一帯の環境を管理していく必要があります。 八条ヶ池周辺の日常的な点検・清掃・水質管理やキリシマツツジの保護治療事業など、様々な樹木や花等の育成などの美観保持を行うとともに、橋のメンテナンスや水質浄化など、限られた予算内での効率的かつ効果的な安全衛生管理に努めます。 市の天然記念物であるキリシマツツジは樹齢約150年の古木であり、その保護治療を行いました。対象が植物で自然（気象天候等）の影響もあり、短期間で評価することは専門家でも難しいため、今後どのように変化していくかは未知数です。今後は、次世代キリシマツツジの育成にも取り組みます。 経年劣化による損傷や腐敗が目立つ水上橋の北・西橋については、危険部分の早急な改修が必要です。府の「温室効果ガス吸収源対策森林整備事業補助金」などの財源を活用し、早期の改修工事を行うとともに、平成25年度に回収した南橋も含め、橋の長寿命化を図るための維持管理計画を策定し、長寿命化に必要なメンテナンスを行っていきます。 						